

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年8月28日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年8月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【バックホウによるガイドケーブルへの接触および断線について】 伐採木一時保管エリアで脱輪したホイールローダーをバックホウにて移動する作業において、一時保管エリア上部に設置されていた通信ケーブルのガイドケーブルにバックホウのアームが接触し断線を確認。 通信ケーブルには異常は無く、断線したガイドケーブルは復旧済み。	GⅢ	8月21日
2	【2号機原子炉建屋南側に設置されている600トン クローラークレーンからの油の漏えいについて】 2号機原子炉建屋南側に設置されている600トン クローラークレーンのメインフレーム油圧ライン継手部より油の滴下を確認。 エンジンを停止し漏えいは停止。 漏えいした油は、吸着材にてふき取り油受けを設置。 消防により「油の漏えい事象」と判断。 今後、点検修理予定。	GⅢ	8月23日
3	【停車中のユニック車からの油漏れについて】 停車中のユニック車の運行前点検を行ったところ、前輪部分に油漏れを確認。 漏えいした油は、中和剤にて拭き取り。 漏えい箇所周囲を養生し、外部への漏えいがないことを確認。 消防により「油の漏えい事象」と判断。 今後、点検修理予定。	GⅢ	8月26日
4	【乾式キャスク仮保管設備のエリア放射線モニタの高警報発生について】 乾式キャスク仮保管設備のエリア放射線モニタの高警報が複数回発生。 なお、同エリアに設置された他の2台のエリア放射線モニタの指示に変動が無いことを確認。 今後、点検修理完了までは当該モニタ近傍に可搬型線量率表示器を設置し、線量率測定を行う。	GⅢ	8月24日